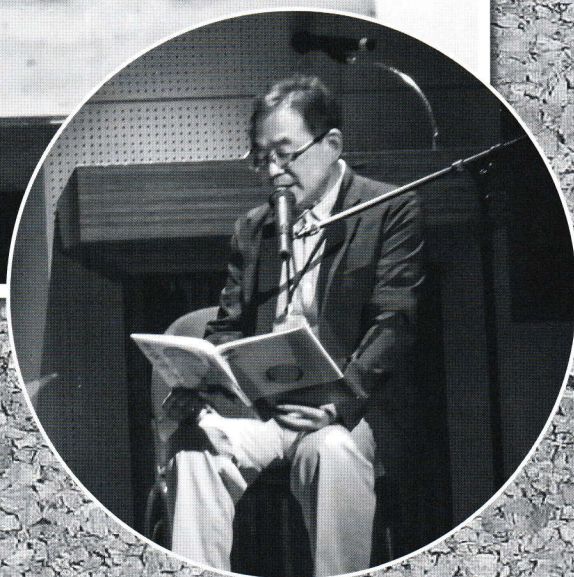


かつらぎ

2023年
(令和5年)

7月



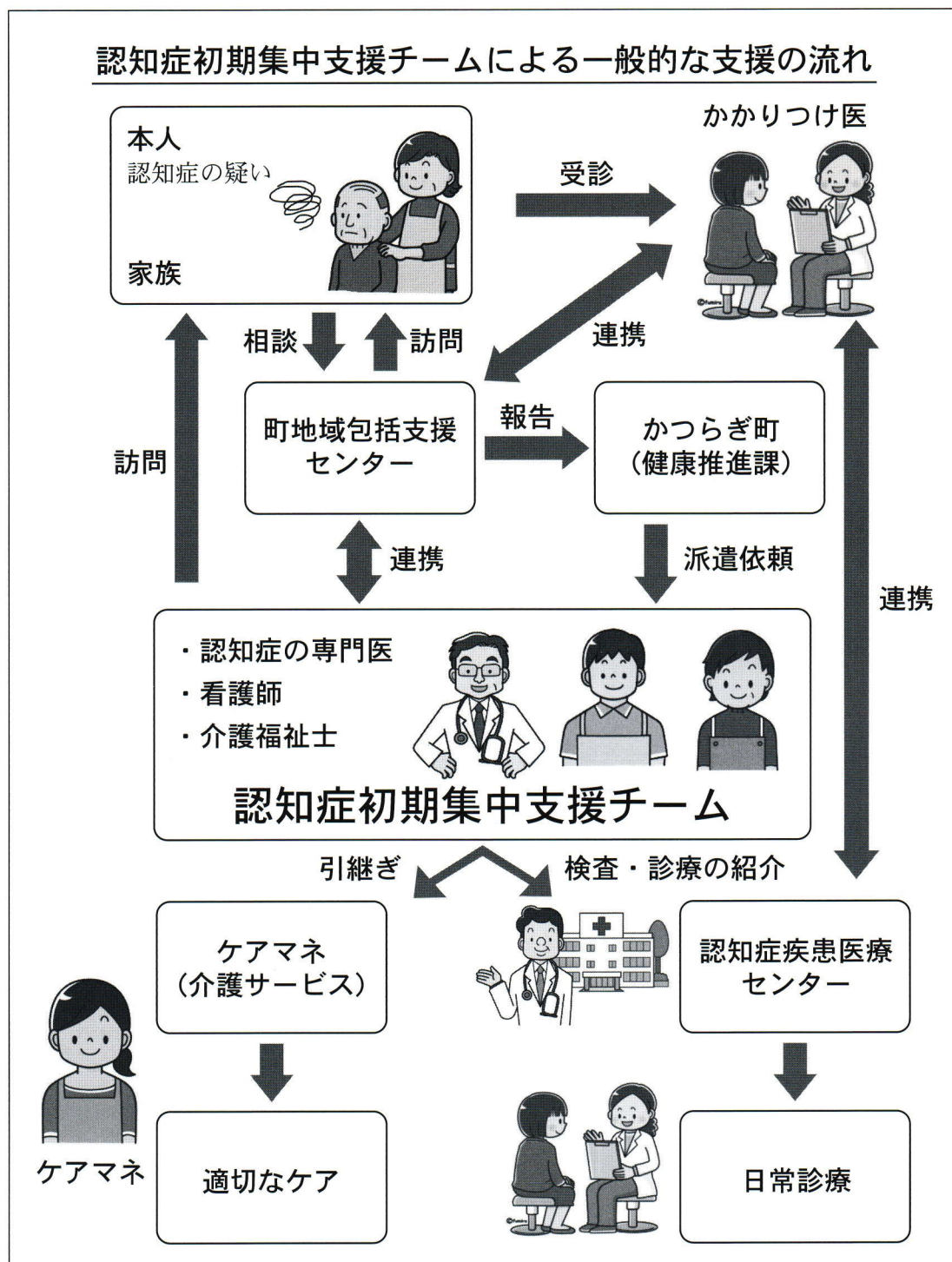
特集
認知症について考える



認知症について困りごとがある方へ

認知症初期集中支援チームが活動しています

認知症初期集中支援チームによる一般的な支援の流れ



認知症初期集中支援チームとは？

認知症の疑いのある方や、その家族の方の困りごとについて相談を受け、訪問などを通じて医療や介護につながるチームです。

かつらぎ町では愛光園に委託し、医師・看護師・介護福祉士が認知症初期集中支援チームとして活動しています。

認知症初期集中支援チームの「初期」とは認知症の初期という意味だけでなく、関わりの初期（ファーストタッチ）という意味もあります。対象となる方の状態が初期とは限らず、ある程度の進行がみられ、これまで医療や介護を利用されていた方も含まれます。

◇どんなことをするの？

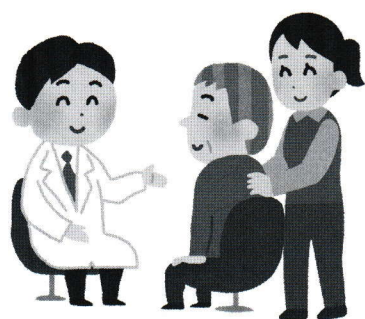
専門チームが認知症の方やそのご家族を訪問し、本人の心身の状況や家族の介護状況を確認しながら医療や介護につなげる支援を短期に集中して行います。

◇どんな方が対象なのか？
 自宅で生活する40歳以上の方のなかで認知症が疑われ、次の項目のいずれかに該当する方。

- ・ 認知症の診断を受けていない、または治療を中断している方
- ・ 医療や介護のサービスを利用していない、または中断している方
- ・ 認知症の症状によって対応に困っている方

チーム員の活動紹介

まずは訪問を重ねて信頼関係を築くことから始めます。訪問で得られた情報はチーム内で共有し、サポート医でもある医師から対応についての専門的な助言をいただき、必要な時には医師も訪問します。



とあるケース

近隣の方に対して被害妄想が現われ始めたことで家族さんから地域包括支援センターに相談があったことがきっかけにチームに依頼があり支援を開始しました。本人の認知症状により家族さんとの関係性が悪くなっていました。専門医への受診・必要なサービスの利用等に対して強い拒否があり、家族さんは対応に苦慮していました。認知症状が初期であったため、訪問回数を重ねることで顔や名前を認識し、ある程度チーム員の提案を受け入れてくれるようになり、認知症の専門医へは比較的小スムーズに受診することができました。

受診時にはチーム員が同席し生活状況を伝え、症状に対する内服薬を開始することになりました。

一方で介護サービスの利用には良いイメージがなく、サービスを導入するには更に時間が必要でしたが、チーム員が訪問と対話を繰り返すことで拒んでいた態度も徐々にほぐれ、デイサービスの体験利用につながりました。体験利用から本利用まではスムーズに運び、利用を重ねるにつれてご本人の生

活リズムが整い、それまであった被害妄想も軽減されていきました。家族さんの介護負担の軽減にもつながったことで、家族の関係性も回復しました。専門医への受診とサービスの利用が継続できるようになったことで、チームとしての支援が終了となりました。

☆チームとして活動していく中で感じたこと

支援対象の認知症高齢者の方々は、症状が進行するとも忘れやそれに伴って現われる様々な症状によって、人との関わりが必要と感じづらくなっている場合があります、その場合サービスにつなげることは難しいです。

本当は忘れることや解らなくなっていくことに不安を感じ、家族や周囲の人を頼りたいと思っけていても認知症を患うとうまく頼れなくなる方が多くいます。そういった思いを感じ取り、そつと寄り添った支援を今後も続けたいと考えています。

まず相談を！



◇早期発見・早期治療の大切さ

治療やケアによって症状の進行を緩やかにすることもありますが、判断能力が明確なうちに今後の生活へ備えることができます。

早い段階から生活環境を整えていくことが、本人や家族のサポートにつながります。

◇認知症初期集中支援チームの利用方法は？

まずは地域包括支援センターにご相談ください。専門職が本人の身体状況や生活状況・家族様の介護状況を伺った上で必要性を判断し、町がチーム派遣を決定します。

お問い合わせ

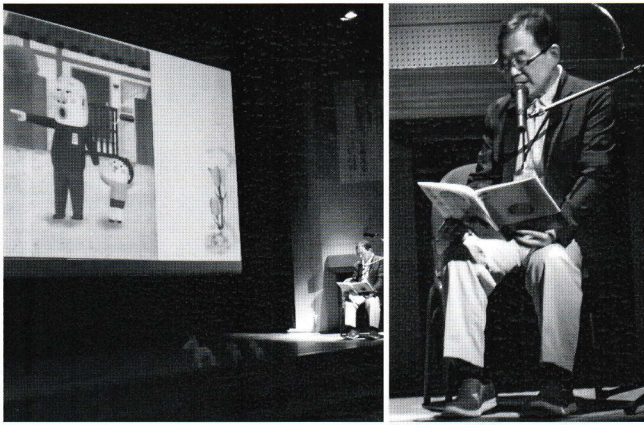
町地域包括支援センター
 ☎ 0736-22-2322

令和5年度 認知症講演会

その人の気持ちになって考える ことが大切

5月20日(土) かつらぎ総合文化会館で認知症講演会が2部構成で開催され110名の参加がありました。認知症は誰がなってもおかしくない病気です。講演会は、認知症について正しい知識を持つてもらうために開催しました。その講演会の様子と参加者の声をお届けします。

第1部 認知症絵本の読み聞かせ

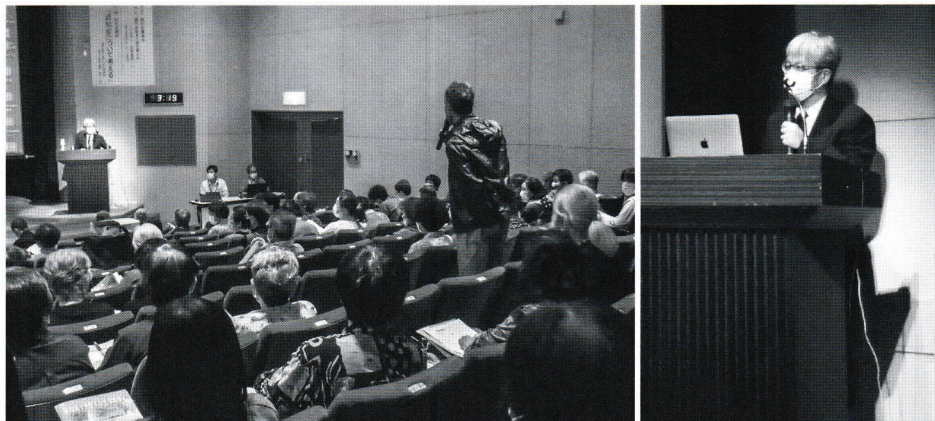


第1部は北山和民さん（認知症家族の会）による認知症絵本の読み聞かせが行われ参加者は吸い込まれるように聴き入っていました。

○参加者の声

- ・ 認知症の人の困った気持ちがよく伝わりました。その人の気持ちを想像することはとても大切なことですね。
- ・ 思っていることを思い出せない苦しさをわかってあげたい、知ってあげたいと思った。
- ・ 絵本をまた読んでみたいと思った。
- ・ わかりやすいお話でした。心温まりました。

第2部 認知症について考える



らは認知症の方々と共存していかなければならない」と話され参加者は納得した様子で聞き入っていました。

○参加者の声

- ・ 認知症になっても尊厳が損なわれない、そんな世の中であってほしい。
- ・ 認知症はマイナスなイメージがあったけれど、今回の講演会で知ったことから認知症の人と関わり方をいろいろ工夫しながら共存できるように自分にできることをしていけたらいいなと思いました。
- ・ 自分が認知症にならないためにも、社会に貢献したり積極的に活動をしていきたいと思いました。
- ・ 認知症について理解できなかった。認知症になっても、人として楽しく生活できるような街づくりが大切だと思った。

お問い合わせ

町地域包括支援センター
☎ 0736-22-2322

第73回 社会を明るくする運動



仕事帰り。

日は沈み、夜空に星が瞬いている。地元に帰り、協力雇用主である町工場で働いて一年。やっと、一人が怖くなくなってきた。

この街で生まれ育った。

両親は仕事で忙しく、家にはいつも一人だった。一人でいるのは不安だったから、できるだけ長く遊べる友達と一緒にいた。

幼馴染は、俺の家の状況を知っていて、よく家に入れてくれた。

幼馴染の家族が、温かく迎え入れてくれていたのをよく覚えていた。でも、だんだんと、自分と同じようなやつらと一緒にいることが増えていった。

いつもつるんでた仲間から紹介された「小遣い稼ぎ」。最初はまさか、詐欺だなんて思わなかった。正直

怖かったけど、断ったら、もう仲間だと思ってもらえない気がした。また一人になる、その方が怖かった。

20代前半で、刑務所行き。正直、ほっとした。

刑務所から出た後、結局地元に戻るしかなかった。でももう、仲間の元には戻りたくなかった。

誰も俺のことを知らないところに逃げたくて、紹介された協力雇用主のもとで働き始めた。最初は、周りとうまくやっていける気がしなくて、不安で押しつぶされそうだった。でも、周りは案外、俺をすんなり受け入れてくれた。

失敗ばかりの俺に、先輩は「最初はそのなんもんだ」と笑い飛ばして、根気強く教えてくれた。行きつけの食堂のおばちゃんは、俺がしょぼくしていると、何も言わずおかずを一品増やしてくれた。

社長は、逃げ癖のある俺にずっと向き合って、色んな話をしてくれた。一度は疎遠になった幼馴染も、昔と変わらず接してくれた。

ずっと一人になるのが嫌だった。でも、誰かと一緒にいても、孤独だった。仲間はいたけど、歪な繋がりがあったんだと、今なら分かる。あの頃と同じ街で、色んな人に囲まれて、暮らしている。

一人じゃ何もできない俺が、自立、だなんて、永遠に無理だと思っていた。

でも、一人でもなんでもできることが自立じゃない。自分の周りにいる人たちを頼ったり、助けてもらったりしていいんだ。

支えられている、見守られていることが、とても嬉しい。

そう思えてから、自然と前を向けるようになった。

もう一人は怖くない。

きちんと一人、でも孤独じゃない。

“孤独”について身近な人と語り合ってみませんか？

お問い合わせ

町社会福祉協議会 地域係
☎ 0736-22-4311

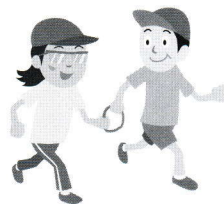
和歌山県障害者スポーツ大会

記録を伸ばすことができた!

5月21日(日)、第23回和歌山県障害者スポーツ大会が紀三井寺公園陸上競技場において開催され、かつらぎ町から選手7名と伴走ボランティア1名が出場しました。1人1競技の出場で、ソフトボール投げや砲丸投げ、50m走や200m走に出場しました。

200m走に出場し、1位となった山本敏一さんやまもととしかず(丁ノ町)は、「スポーツできる機会がもっと増えてほしいな」「皆さん頑張っているのを感じてこれからもまだまだ頑張らないといけないなと思った」と話されていました。

また、砲丸投げで1位となった稲川祐司さんいなかわゆうじ(佐野)は「記録を伸ばすことができた!」と嬉しそうに話されていました。



ま〜るく、つながる人と人

コーナー

“地域づくり”を応援します!!

3号

活動をつなげる〜かつらぎ町商工会女性部で輝く〜

三谷地区の大宅丹星薬品 店主 大宅 充さんは、かつらぎ町商工会女性部で活躍中です。

コロナ禍により恒例だった行事も中止を余儀なくされ、かつらぎ町商工会も大きな影響を受けました。

コロナ緩和をキッカケに“原点に戻って取り組みを考えよう!”と“楽しい商工会女性部”を再始動。

活動をつないでくれる若い会員さんのチカラに希望をもつとともに、落ち込み傾向だった会員の気持ちを盛り上げられるようにと、時には「会議後のお茶会」を計画するなど、活動を工夫されています。

「気持ちに余裕をもつことが大事です」と大宅さん。

活動が楽しければ後続く…と強い思いをもって、人と人をつなげています。



大宅丹星薬品 大宅 充さん

善意のご寄付

(5月1日～5月31日 敬称略)

次の方々から社会福祉協議会へ善意の寄付をいただきました。寄付金は、広く地域福祉活動の推進に役立てさせていただきます。

◆遺志として

山本 悟	亡母	幾代	滝
船井 宏員	亡妻	冷子	広口
山高 國央	亡妻	兼代	平沼田
森下 佳純	亡母	厳子	三谷
西林 和彦	亡父	和夫	柏木
松本 治郎	亡父	光生	丁ノ町
堀内 マチコ	亡母	トキコ	笠田東
野口 孝	亡妻	孝恵	丁ノ町
藤本 武雄	亡母	千須子	中飯降
亀田 佳幸	亡母	秋子	丁ノ町
市谷 隆明	亡母	和代	滝
中岡 健	亡母	月子	佐野
黒田 佳伸	亡父	恭弘	大谷
松本 公一	亡父	勇	新田
木村 悦子	亡夫	昌治	広浦
匿名	1件		

◆篤志寄付として

西林 崇夫

ありがとうございました

ありがとう



(5月1日～5月31日 敬称略)

★使用済切手・ハガキ収集に協力いただいた方

野口 修造・桜井鉄工(株)

ボーイスカウト伊都第3団

NPO法人よりみち・匿名6件



★配食サービス(本所)に食材料を提供いただいた方

匿名 (いちご)

よりみち 菊谷

ゆったり心を休める居場所に



NPO法人「よりみち」は、7月1日から不登校やひきこもりの支援活動の拠点として、「よりみち菊谷」での活動を始めます。

ゆったり心を休めていただける「居場所」を目指しています。

お問い合わせ：NPO法人よりみち

TEL：090-7093-9595

メール：yorimitchic@chic.ocn.ne.jp

facebook



こまった時は、気軽に相談しよう!!



もの忘れ相談

7月3日(月)・18日(火)

受付 13時～15時(先着順)
場所 町地域福祉センター2階
問合せ 町地域包括支援センター
☎ 0736-22-2322

年相応のもの忘れ?認知症?迷ったら
ご相談を(当日電話での相談可能)

無料法律相談

7月10日(月)・24日(月)

受付 13時30分～15時30分(先着順)
場所 町地域福祉センター2階
問合せ 町社会福祉協議会
☎ 0736-22-5222

法的なトラブルに弁護士が相談に応じて
います(相談時間は16時まで)

ふくし何でも相談

月～金曜日(祝日除く)

受付 8時30分～17時15分
場所 町地域福祉センター2階
問合せ 町社会福祉協議会
☎ 0736-22-5222

日常生活上の困りごとに幅広く対応
職員が相談に応じています

社会福祉協議会・福祉団体

地域のボランティア活動

1	土		
2	日		
3	月	もの忘れ相談 (13:00~15:00)	
4	火	つれもてカフェ (13:30~15:00みまもりショップ杏)	手話伊都手のひら(19:30~21:00妙寺公民館)
5	水		よりみち・ひきこもり相談会 ※要電話予約 (13:30~15:30大谷地域交流センター) よりみち・親の会(19:00~21:00大谷地域交流センター) 手話サザエさん(19:30~21:00笠田ふるさと交流館) ブラインドマラソン伴B(20:00~21:00かつらぎ公園堤防)
6	木	朗読山びこ (9:00~14:00)	ひきこもり青年のための「居場所」 日時 月~金曜日(祝日除く) 13:30~15:30 ※ 5日(水) 11:30 冷たい麺作り 菊谷邸 ※11日(火) は小中高生居場所 ※14日(金)・28日(金) は女性居場所 菊谷邸 場所 大谷地域交流センター (問) NPO法人よりみち ☎090-7093-9595
7	金	友愛電話 (13:30~15:30) 手話サークル夢 (13:30~16:00)	
8	土		
9	日		
10	月	無料法律相談 (13:30~15:30)	
11	火	つれもてカフェ (13:30~15:00cafeころーれ) 布のおもちゃ (13:30~16:00)	子ども・親子のたまり場 ※要予約 (10:00~12:00大谷地域交流センター) ブラインドマラソン伴B(20:00~21:00かつらぎ公園堤防)
12	水		
13	木		
14	金		子ども・親子のたまり場 ※要予約 (10:00~12:00大谷地域交流センター)
15	土		
16	日		
17	月	海の日	
18	火	もの忘れ相談 (13:00~15:00) 布のおもちゃ (13:30~16:00)	三ツ葉会(13:30~15:00丁ノ町地域交流センター) 手話伊都手のひら(19:30~21:00妙寺公民館)
19	水	つれもてカフェ (13:30~15:00憩カフェ樹楽)	手話サザエさん(19:30~21:00笠田ふるさと交流館) ブラインドマラソン伴B(20:00~21:00かつらぎ公園堤防)
20	木	認知症家族の会 (13:00~15:00) 友愛電話 (13:30~15:30)	はっぴーサークル(13:30~15:30笠田ふるさと交流館)
21	金	手話サークル夢 要約筆記勉強会 (9:30~12:00) 手話サークル夢 (13:30~15:00)	つれもてカフェ 赤ちゃんから高齢者までどなたでも 自由に参加することができます。 認知症について気軽に学び、同じ 悩みを持つ方とつながり、専門的 な相談もできます。(4日・11日・19日・24日・27日) (問) 地域包括支援センター☎0736-22-2322
22	土		
23	日		
24	月	無料法律相談 (13:30~15:30) つれもてカフェ (13:30~15:00エスキース)	
25	火		
26	水		ブラインドマラソン伴B(20:00~21:00かつらぎ公園堤防)
27	木	点字サークルあすなろ (9:00~12:00) つれもてカフェ (13:30~15:00デイサービス夢心)	
28	金		子ども・親子のたまり場 ※要予約 (10:00~12:00大谷地域交流センター)
29	土		
30	日		
31	月		

★実施場所の掲載がない所は、
地域福祉センターです。

